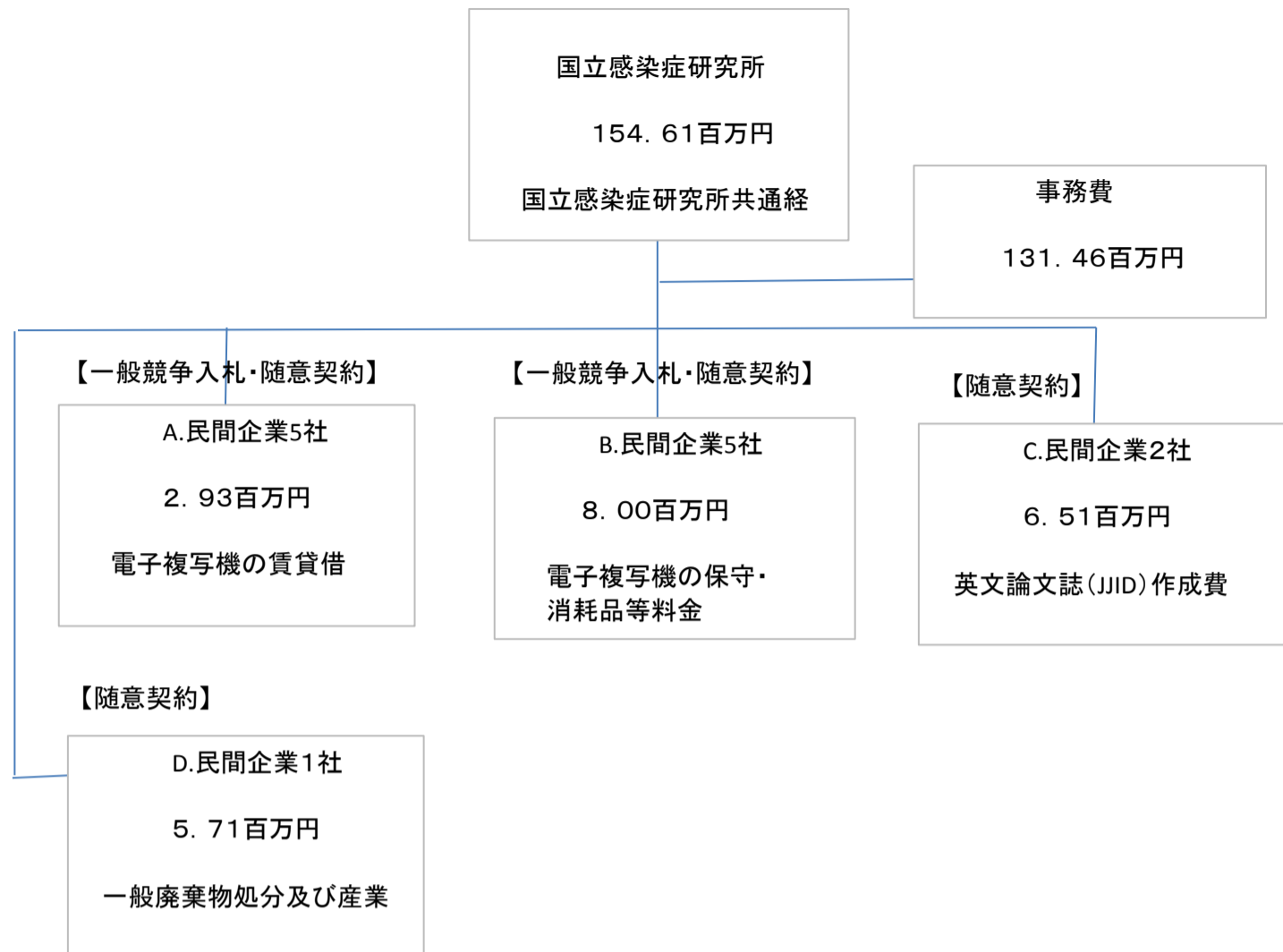


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国立感染症研究所共通経費		担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	総務部会計課		課長 星野 真		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立感染症研究所の研究業務の円滑な遂行							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	当所研究業務全般に必要な備品、消耗品等の購入費用、印刷製本費、通信運搬費、非常勤職員給与等							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	174	174	155	140	130	
	執行額	174	174	155				
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	成果目標が定量的なものではないため、定量的な成果指標を示せない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	定量的な活動指標を示せない。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
						( )	( )	
単位当たりコスト	— (円/ )		算出根拠	—				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	備品費	7	6	備品の更新時期の見直し、台数等の精査による減				
	消耗品費	31	26	消耗品の購入数等の精査による減				
	印刷製本費	10	8	印刷部数の精査による減				
	通信運搬費	15	13	通信運搬費の精査による減				
	借料及び損料	3	3					
	賃金等	39	39					
	雑役務費	35	35					
計	140	130						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業においては、国立感染症研究所の研究業務の円滑な遂行のための、事務的器材の賃貸借、消耗品の購入及び、外部への業務紹介に使用するパンフレット等の作成業務を実施している。事務的器材(複写機)の借料において、一般的競争入札により業者を選定し、複数年契約を行う等しているが、引き続き効率的な予算執行に努めたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>国立感染症研究所共通経費について、恒常的に多額の不用が生じているわけではないものの、執行実態を精査のうえ効率化を図ること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>事業内容を見直し、一部の備品の更新が25年度以降で可能であったこと、消耗品、印刷製本費、通信運搬費における個数及び積算単価の減が可能であったことから、これらの点について概算要求への反映を実施。 (反映額: ▲10百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.三井CMリース株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料	電子複写機の賃借料	1			
計		1	計		0
B.株式会社富士ゼロックス			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	電子複写機の保守・消耗品等料金	5			
計		5	計		0
C.小宮山印刷工業株式会社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	英文論文誌(JJID)印刷及びPDF作成料	3			
計		3	計		0
D.株式会社KYOYA			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	一般廃棄物及び産業廃棄物処分業務費	6			
計		6	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三井CMリース株式会社	複写機の賃貸借料として	1.1	2	97.23
2	NTTファイナンス株式会社	複写機の賃貸借料として	0.74	2	42.36
3	リコーリース株式会社	複写機の賃貸借料として	0.559	随意契約	
4	日立キャピタル株式会社	複写機の賃貸借料として	0.49	随意契約	
5	コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社	複写機の賃貸借料として	0.045	随意契約	
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士ゼロックス株式会社	電子複写機の保守料として	4.86	1	95.4
2	キャンホンマーケティングジャパン株式会社	電子複写機の保守料として	1.65	1	95.73
3	リコージャパン株式会社	電子複写機の保守料として	1.4	随意契約	
4	(株)大塚商会	電子複写機の保守料として	0.086	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	小宮山印刷	JJID印刷及びPDF作成費として	4.16	2	55.1
2	株式会社エアクレレン	JJID論文掲載の英文構成請負業務費として	2.35	2	92.9
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社KYO A	一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬及び処理費	5.71	1	97
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					